



祐介の目

No.140

大田祐介 (福山市議会議員)

無投票当選

県議選福山選挙区は無投票となった。全国の県議選で25%の候補者が無投票当選だったそうだが、私は現行の公職選挙法では立候補者が増えないのは仕方がないと思う。福山市内にポスター掲示板が約千カ所あるが、これを2〜3人1組(運転手、ナビ役、貼る役)で50枚貼るとして20チーム、合計40〜60人が必要だ。しかし、ポスターを見て投票する人がどれだけいるのか? 労多くして実り少ない作業である。

他に選挙中にできることは、街宣車、電話、公選葉書とチラシ、演説会、選挙公報、メールやSNS等がある。これをフルにやると相当なエネルギー(人・物・金)が必要だ。確実な支持基盤(後援会、政党・組織・企業等)があり、前記の選挙運動ができる人でないと立候補できない。しかも福山の県議なら一万票取れる目処が無いと厳しい。つまり新人の付

け入る隙が無い。

逆に激戦となったのが広島市議選だ。54人の定数に対して84人が立候補した。政令市なので8選挙区に分かれ、中区は約15km²でポスター掲示板は179カ所しかない。最下位当選者は二千票台とハードルも低い。報酬は県議並みの1500万円だ。優秀な人材が転職するケースもあつたと思われる。ところが激戦にもかかわらず投票率は34.4%しかなかった。メディアは議員の不祥事は報道しても、良いことは無視する。議員のイメージは悪くなる一方で投票率と連動している。

ちなみに来年4月の福山市議選も激戦の見込みだ。すでに新人の立候補予定者の名前が十人程度取り沙汰されているが、新人は新しい風を吹かせるイメージがあり有利だ。私も何の実績も無い最初の選挙の得票が一番多く、以降いろいろ成果を挙げても票は減る一方だ。現職議員は「何をやっているのかわからない」という批判も聞かすが、議会活動を知るには市議会ホームページの会議録検索を見れば誰がいつ何を発言したかすぐわかる。特に予算特別委員会の議事録など面白いと思う。ぜひご一読いただきたい。